【10 月６日開催】地域一体で進めるサステナブルツーリズムセミナー質問回答

本質問回答は、令和８年 10 月６日に開催した「地域一体で進めるサステナブルツーリズムセミナー」において、参加者アンケート及びオンライン上でお寄せいただいたご質問に対し、講師の方からご回答いただいたものです。

質問①
世界を見たときに良い事例、成果があった事例などありましたら、教えてください。

回答（大河原様）
シンガポールのマリーナ・ベイ・サンズでの、エネルギー管理をしつつ、カーボンフットプリントの削減を実施した事例を共有します。
https://jp.marinabaysands.com/sustainability.html
過去の記事（2023 年４月）で ELLE のホームページにいくつかの事例をまとめたものがありましたので共有します。
https://www.elle.com/jp/culture/travel/g43132105/best-eco-sustainable-hotels-in-the-world2304/
以下、観光庁の事例集（自治体・観光施設・旅行会社向け）も参考になさってください。
https://www.mlit.go.jp/kankocho/jirei_shien/sustainable.html

質問②
認証の具体的な価値、ビジネス上でどれだけプラスに働くか？　または、認証のメリットを最大限享受できる方法は？

回答（大河原様）
認証そのものがどれだけプラスに働くかは、事業者様のターゲットに依ると考えています。例えば国内外のモダンラグジュアリーと呼ばれる層や、大企業・MICE 等にはより響きやすいと思います。使い方としては、海外 AGT への営業や海外商談会（特に欧米）での訴求には効果が大きいと思います。

質問③
丹波地域（丹波篠山市・丹波市）の豊かな自然環境、農業、歴史文化を活かした持続可能な観光地域づくりに関心があります。特に、地域住民の理解と参画を得ながら進める手法や、観光による地域経済への効果を可視化する方法、国際認証制度の活用事例について知

りたいです。

回答（丹波篠山市観光協会　今井様）

丹波篠山市では、新しい観光事業を一からつくるというよりも、これまで地域で続いてきた自然・農業・食文化・伝統文化の取組を、「持続可能な観光」の視点で見直し、観光につなげています。

地域住民や事業者の参画を得るためには、観光客を増やすことだけを目的にせず、地域の暮らしや産業を守ることにつながる取組であることを具体的に共有することが大切だと感じています。また、最初から大きな負担をお願いするのではなく、それぞれが無理のない範囲で関われる形をつくることも重要です。

地域経済への効果については、参加者数だけでなく、地域事業者への売上、地域内での仕入れ、滞在時間や宿泊、季節・エリアの分散、事業者や参加者の声などを組み合わせて確認していく必要があると考えています。どのような手法を使うかはこれから市と相談しながらになります。

国際的な制度や基準を活用することで、地域の取組を客観的に整理し、できている点と今後の課題を関係者間で共有しやすくなりました。これから県のサポートなどを受けながら私たちも何から始めるかを考えていくところです。

質問④

旅館として、サステナブルへの取り組み現状分析ができる、チェックシートがあれば、もっと身近なものとしての理解が進むと思います。

回答（藤田様）

GSTC スタンダードを元に作成した「サステナビリティセルフチェックシート」を共有させていただきます。

回答（大河原様）

旅館に限らず宿泊施設全般で使えるベーシックなものとして、WTTC（世界旅行ツーリズム協議会）の「Hotel-Sustainability-Basics（英語版）」は項目数が 12 と少ないので、最初の取組としておすすめです。

https://www.gstc.org/wp-content/uploads/WTTC-Hotel-Sustainability-Basics-Standard-v1.0-1.pdf

質問⑤

サステナブルツーリズムにおいてガイドにはどんなことを期待されているのか。

回答（藤田様）

ガイドとしてサステナブルツーリズムの理解を深めることは極めて重要です。
ツアーを通じて正確な知識を提供するだけでなく、旅行者に対するマナー啓発や地域ルール・文化の伝達を徹底することが求められます。また、食事制限をはじめとする旅行者の多様なニーズへの適切な対応も欠かせません。
詳細については、TCVB 主催セミナーにて解説しておりますので、ぜひそちらをご参照ください。
セミナーURL：https://www.tcvb.or.jp/jp/project/research/sustainable_tourism/